

補導員だより

第63号
令和3年3月
福井市補導員連絡協議会
編集・発行
総務広報部会

コロナ禍でも、頑張って 「愛のひと声」かけてます！

マスクをして話しかけるときは、目元を意識してやわらかい表情を出すように工夫しています。



大人として、補導員として、青少年の見本になれるよう、常日頃から正しいマナーや言葉遣いを心掛けています。



臨時休校時、外で複数集まって遊んでいる児童生徒には、マスクの着用や三密を避けること、遊んだ後は手洗い・うがいをすることなど、感染防止対策を講ずるよう指導しました。



部活動の終了時間が早くなった日や、休みの日には、ゲームコーナーに子どもたちが集まるので、時間帯を変更しながら巡回しています。



コロナ禍であっても、自転車やスケートボード等で遊ぶケースが増えていると感じています。乗り方やマナーのほか、公道での使用禁止や、公園の使い方などについて指導しています。



私たちは、市役所に集合して出発します。最初にプリクラへ。店長とは顔馴染みで、彼女からの情報によって、最近の高校生の動静がわかります。ここでは化粧に熱心な子が殆どで、「綺麗な肌を傷めたらあかんよ」と声をかけたり、「学校のきまわりを知っているか？」と聞いたりしています。次に向かうのは西武・ロフト。三階の「ヴィレッジヴァンガード」に中高生が多く、若者の興味関心が変わります。お店からは、万引きが多いと聞いていますが、私たちは万引きを見つけたことはないので、彼らの良心にゆだねるしかありません。そのために私たちは、未然防止の「愛のひと声」活動をしていると思っています。

各班からの補導活動報告
いっしょには！
主任児童委員です

新栄商店街からカラオケ「JOYJOY」に顔を出し、ハピリン、アオッサへと向かいます。勉強している子、空腹を満たしている子、時間つぶしの子、バス・電車待ちの子等いろんな子がいて、それぞれに声をかけながら早めの帰宅を促しています。

(竹森 雅実)

おめでとうございます!

令和2年11月14日、青少年健全育成福井県民大会が美浜町において開催され、当会の補導員3名が「優良な青少年愛護センター補導員に対する知事感謝状」を受領されました。

【受領された皆さん】※敬称略

見竹 秋廣 (春山地区)
天谷 弘之 (岡保地区)
飯田 誠 (清水北地区)



知事感謝状の受賞者(写真は見竹氏)

補導員誌より

- ◆住宅街の路上で、リップスティック(スケートボードの一種)で遊んでいる児童8人を発見。路上に飛び出していたので、交通事故に遭わないよう注意指導した。
- ◆福井駅前のコンコースで、人々の往来が多いにも関わらず、とても速い速度でスケートボードをしている少年がいたため、注意した。
- ◆福井駅西口スクランブル交差点にて、スケートボードを持った少年が喫煙を始めたので声をかけた。
- ◆用水路に児童の頭が見えたため、声をかけた。小学校高学年の男子3名であり、魚を捕まえていた。夢中になってカバンなどを道路に放置しないことや、用水路内は危険であることを注意した。
- ◆海水浴場で、高校生男子4人がバスタオル等で隠すことなく着替えをしており、道路から陰部が見えていたことから注意をした。
- ◆男子児童1人が、立ち入り禁止と書かれた空き地に立ち入ったことから、注意した。
- ◆公衆トイレの屋根の上に乗っている中学生が1人いたので声をかけた。近付くと逃げる素振りをしたが、「ケガしなかったか?」と声をかけると立ち止まり、話ができた。ケガにつながるような遊び方はやめておくよう話すと「はい」と素直に返事をしていった。
- ◆アオッサで椅子に腰掛け、テーブルに頭を乗せて寝ている女子高校生を発見した。多くの人が行き交う場所で寝ていると、犯罪被害に遭う恐れがあることを伝えた。不眠症で薬を飲んでおり、学校は午後から行くつもりとのこと。
- ◆午前中、ハピリンで、椅子に腰掛け、スマホを操作している女子高生に声をかけた。お腹が痛くて薬を飲んだこと、学校に連絡していることを話した。お腹が落ち着いたら、学校に行くなり、家に帰るなりするよう指導した。
- ◆ハピリンの事務所の方から話を聞いたところ、午後6時過ぎになるとアベック高校生を時々見かけ、目を背けたくなるような行為の時もあるとのことでした。
- ◆アオッサ8階。高校生カッパルがいちゃいちゃしていた。近くにいた人がいなくなると、大胆な行動に出たので声をかけた。
- ◆各所で聞き取りをするも「特に問題なし」との声ばかりであるが、定期的に見回ることがやはり大切なのだと言頭補導の意義・目的を思い出した。

わたしたちは福井市の補導員です

子どもたちに「早く帰ろうね」「気をつけて遊んでね」などの愛のひと声をかけています。



編集後記

突然のコロナ禍で、それぞれの部会も思うように事業が出来なかった年でした。また、補導活動が再開され、日が経つにつれ、外出する人数が増え始める光景を目のあたりにしました。補導員のみなさんも、補導活動に戸惑いの部分も多かったのではないのでしょうか。

今回の「補導員だより」は、初めにかえり、補導員の補導活動を中心に取り上げました。補導員の「声かけ」の状況や内容を多少なりとも理解して頂ければと思います。また、補導員の皆様にも、今後の活動の参考として頂ければ幸いです。